

2023年度埼玉県ミニソフトボール親善大会 競技規則

1. 競技場

- (1) 塁間は14m・投補間は8mとする。

2. チーム編成

- (1) 守備母さんの出場は常時3名とし、攻撃または守備のみの参加は認めない。
- (2) 1チーム11名とし。打撃は11名で行うが守備は10名で行う。
(注) 当日の参加人数が10名の時に限り、先頭打者が2回打撃を行う
が次のイニングは、2回打撃をした次の打者が先頭打者になる。

3. 用具

- (1) ボールはミニソフトボール2号球、バットはウレタンバットとし大会本部が準備したものを使用する。

4. ルール

- (1) 1試合3イニングの表裏の攻撃で得点を競うものとする。
 - (2) 出場選手11名全員が打ち終わった時点で攻守交代する。
1人目の打者による得点は、塁打により決定する。
(注) 1人目の打者の打撃が完了し、その打球を処理した守備者の送球が投手板付近にもどったらボールデットとする。
 - (3) 投手は打者が打ちやすいボールを投げる。(速いボールと1.5m以上の山なりの投球は審判が注意する)
 - (4) 四球はなし、四球、三振はあり。バント無し(ボールデット打ち直し)。
 - (5) 各イニングの最後の打者には四球がない。
 - (6) 打者が投球を打たなかったときはボールデットとする。盗塁はなし。
(投手の手からボールが離れた後、リードする事はできる。)
 - (7) スライディングは禁止
 - (8) 各塁、走り抜けることができる。(タッチしてもアウトにならない)
(注) 塁間に引かれた線を越えると進塁と見なし、各塁共に1塁と同様にフォースプレイで判定する。
但し飛球を捕球された場合は例外とし、帰塁することができる。
 - (9) 内野の悪送球については、1個の安全進塁権が与えられる。
5. 守備は外野手4名とし捕手以外のプレーヤーは、フェア地域のどこを守ってもよいが、打者の視界内に位置してはならない。
6. 打順表は提出しなくてもよい。選手の交代は自由とする。(無通告でよい)。
7. 打順の決定は次のとおりとする。
勝ち：2点 引分：1点 負け：0点、同率の時は、①失点が少ない、
②得点が多い順とし、なおも同率は抽選とする。
8. その他のことについては、オフィシャルソフトボールルールに準ずる。